

みなさんと議会を結ぶ…… 議会だより

の 議会ゆがわら

平成30年11月

No.108

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674



湯河原温泉 灯りの祭典 9月29日(土)



ゆがわらハロウィン2018 10月27日(土)・28日(日)



9月
定例会

9/11~10/2

● 主な内容 ●

- 平成29年度決算・・・・・・・・ 2
- 一般質問・・・・・・・・ 3
- 委員会だより・・・・・・・・ 6
- 審議と賛否・・・・・・・・ 9
- 常任委員会所管事務調査・・ 10

9月定例会

平成30年第4回湯河原町議会9月定例会は、9月11日から10月2日までの22日間（本会議開催4日間）にわたり開催されました。

この定例会では、平成29年度決算の認定、条例、補正予算、工事請負契約の締結、意見書など議案23件を審議しました。

決算の認定

9月定例会に上程された平成29年度の各会計決算は、決算審査特別委員会に付託されました。

決算審査特別委員会

(9月26日・27日開催)

一般会計、特別会計（国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療）及び公営企業会計（水道事業、温泉事業、下水道事業）の決算審査を行いました。

各会計の決算内容の審査とともに、平成31年度の予算編成に向けての意見・要望が委員から出され、指摘事項を付し、すべての会計の決算を認定しました。

- (委員長) 石井 温
- (副委員長) 村瀬 公大
- (委員) 並木まり子
- 松井 一寿
- 石倉 幸久
- 善本 真人
- 土屋 誠一

平成29年度決算の内容

一般会計・特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	104億8,677万円	102億3,468万円	2億5,209万円
国民健康保険事業特別会計	44億3,997万円	39億6,205万円	4億7,792万円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	23億4,752万円	5,837万円
	介護サービス事業勘定	1,116万円	278万円
後期高齢者医療特別会計	4億40万円	3億9,229万円	811万円
合計	177億4,697万円	169億4,770万円	7億9,927万円

水道事業会計

収益的収入・支出(税抜き)

収益的収入	収益的支出	当年度純利益
4億3,599万円	3億4,435万円	9,164万円

資本的収入・支出(税込み)

資本的収入	資本的支出	差引額
1億8,086万円	3億9,966万円	△2億1,880万円

温泉事業会計

収益的収入・支出(税抜き)

収益的収入	収益的支出	当年度純利益
1億8,940万円	1億8,466万円	474万円

資本的収入・支出(税込み)

資本的収入	資本的支出	差引額
0円	3,967万円	△3,967万円

下水道事業会計

収益的収入・支出(税抜き)

収益的収入	収益的支出	当年度純利益
9億2,321万円	9億4,013万円	△1,692万円

資本的収入・支出(税込み)

資本的収入	資本的支出	差引額
6億3,896万円	8億1,901万円	△1億8,005万円

徴収業務の強化については、これまで再三の機会を捉え指摘してきたが、対策が講じられぬ状況は職務怠慢であると言わざるを得ない。徴収率向上のため、現年課税分の徴収をより一層強化し、滞納繰越分となることを防ぐこととより、滞納繰越分の時効管理を速やかに、徴収困難事案についても、一刻も早く精査すること。

決算審査特別委員会からの指摘事項

一般質問

※一般質問とは…
議員が本会議で、議長の許可を得て、町政全般（一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など）について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することです。
質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

湯河原町の地域防災計画の現状と強化の必要性について



並木まり子議員

町議会HP
会議録



地球温暖化が大きな問題になっていきますが、7月上旬に起こった西日本を中心とした記録的な豪雨では、死者・行方不明者

が200人を超える、甚大な災害となっております。その後、西日本を横断した逆走台風12号は、湯河原にも海岸線沿いに多大な被害をもたらしました。そこでこの町の地域防災計画と高齢化率を考え、改めて見直した時、今の防災計画で住民を守れるのかと不安に思っている方が多いのではないかと考え、お伺いします。

Q

①湯河原町防災マップの中に書いてある避難情報の種類について具体的に教えて下さい。

A

①平成28年に名称変更があり、現在は「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」は変更なし、「避難指示」は「避難指示（緊急）」となっております。

Q

②今回の台風12号の時、開設した避難所などのような方が避難されましたか。

A

②午後3時に開設した宮下会館には5名、鍛冶屋会館には4名、その後開設した宮上会館には2名で合計11名、そのうち65歳以上の高齢者は8名でした。

Q

③配布されている防災マップは住民の何割の方が理解していると思われますか。

A

③調査した事はないので数値はお伝えできませんが、町では町民一人ひとりに説明することはできないので、各地区の自主防災組織の協力を得ながら

らきめ細やかな説明をする機会を設けていきたいと考えております。

Q

④中学生の通学路である国道135号沿いの歩道は狭く、個人宅のブロック塀が地震等で崩れた時車道に逃げることになりとても危険です。

A

④危険性のあるブロック塀の除去を推進してまいりたいと考えております。

Q

⑤ドッグランが被害を受け、改めて中学校の早期移転を望む声があります。が町長の考えは。

A

⑤今後の児童生徒数の推移を勘案し、現在の学校施設の状況、場所、町の財政負担など検討し、個

別施設計画を策定、検討には時間を要するものと考えております。

本町における美化推進について



石井 温議員



町民に配付された防災マップ

湯河原町観光立町推進計画の中に「町はすべてのまちづくり主体と協力し、観光客が快適で衛生的な、かつポイ捨てゴミのない美しい都市景観・環境の中で過ごせるよう、街なかの

清掃・美化活動を推進します」とあります。

そこで、家庭ゴミ以外を収集することを目的に、町内に設置されている木製ゴミ箱について、質問します。

Q

①現在設置されているゴミ箱の個数とその状態について。

A

①平成30年8月31日現在、木製ゴミ箱の設置数は、利用頻度が多い場所に、可燃ごみ用のゴミ箱を23か所、可燃ごみ・ペットボトル・カンの分別用のゴミ箱を17か所の合計40か所設置しております。また、平成15年度に設置し、約15年が経過していることから、経年劣化による破損が生じているものもございいますが、その都度修繕し、維持管理に努めています。

Q

②現存しているゴミ箱で、間伐材などを使用しているものも見受けられますが、どのような経緯で設置されたのか。

また、今後も間伐材を使用したものを増やしていくのか。

A

②本町では、平成15年を「環境元年」と位置付け、「日本一ポイ捨てごみのない町」を目指し、環境美化施策の一環として、国の緊急地域雇用創出特別対策事業を活用して、町内の山林で除間伐された間伐材を材料にゴミ箱を作製し、町内70か所に設置することにより、ポイ捨てごみの散乱を防ぎ、町の環境美化の促進及び美観の保護を図ったものです。

現時点では、間伐材を使用したゴミ箱を増やし

ていく予定はございませんが、必要に応じてゴミ箱の作製・設置を検討したいと考えております。

Q

③これらのゴミ箱については、どれくらいの頻度で、どのようにゴミの回収をしているのか。

A

③ゴミの回収につきましては、毎週月曜日と金曜日の週2回、町内の委託事業者が回収を行っております。



間伐材を使った木製ゴミ箱

観光振興について



原田 洋議員

交流人口を拡大していくことにより、様々な産業への波及効果が期待できると同時に、自ら

の地域に対する誇りと愛着を育んでいく観光の果たす役割は、大きなものがあると考えます。観光振興について、町長のお考えをお伺いいたします。

Q

①官民連携推進事業について、一部実施済みの事業もありますが、現在までの実施、検討状況並びに今後の推進計画について伺います。

A

①官民連携推進事業では、平成26年度から湯元通り地区において、住民

参加型のまちづくり事業として、道路の美化化工事や民間建物の修景整備等を行っており、平成30年度で事業が完了する予定です。

また、平成28年度には、温泉場エリアの地域戦略の検討、まちづくり会社の創設の検討、万葉公園と湯河原観光会館の官民連携による再生・活用に関する検討、空き家等の再生・活用に関する検討を行いました。

さらに、平成29年度には、万葉公園及び湯河原観光会館の再整備にかかる法令上の諸条件の整理、公募設置管理制度導入の検討、施設ごとの管理運営手法の整理、整備基本計画(案)の策定等を行いました。

今後は、万葉公園を温泉場のまち歩きと癒しの拠点となる空間・機能を備えた魅力溢れる公園に進化させるため、町民、

議会、関係団体等と連携をとりながら、官民連携による万葉公園の整備について推進してまいりたいと考えています。

Q

②湯河原駅前広場の完成や駅下体験型工場のオープン及び温泉場の大型リゾート宿泊施設の完成、本年3月の町立美術館リニューアルオープン等と明るい材料があり、大変、町中に賑わいが戻ってきた感がありますが、観光客数に変化がありますか。

A

②宿泊客数は、平成28年と比較いたしますと10万人ほどの増加となり、ようやく明るいましが見えてまいりました。

【その他の質問】

・少子高齢化の現状と今後の対策について

登下校時に小中学生が持ち運ぶカバン等の健康への影響について



佐藤 恵議員

大正大学の白土教授が実施したカバンの重さの調査では小学生で平均7・7キロで最高は9・7キロもあり、中学生になると17キロの生徒もいたのとことです。

Q

①本町の学齢期の児童生徒の重い荷物の現状の認識についてお伺いいたします。

A

①平成20年の学習指導要領改訂前はA5サイズの教科書が中心でしたが、脱ゆとり教育以降はユニバーサルデザインの視点

から、図や写真を多く取り入れ、文字のポイント数も大きくなり、結果B5サイズが中心となり重量も増えているのが現状です。

Q

②改善策についてのお考えをお聞かせください。

A

②各学校では一日の持ち物の量が適切なものになるように指導しております。また、家に持ち帰らなくても家庭学習に影響がないと思われるものについては学校に置いたままとすることを指導しております。



本町の防災対策の充実について

Q

①この度の西日本豪雨で改めて重要視されたハザードマップの活用問題ですが、活用の仕方やマップ自体の周知について今後どのようにするの

かお伺いします。

A

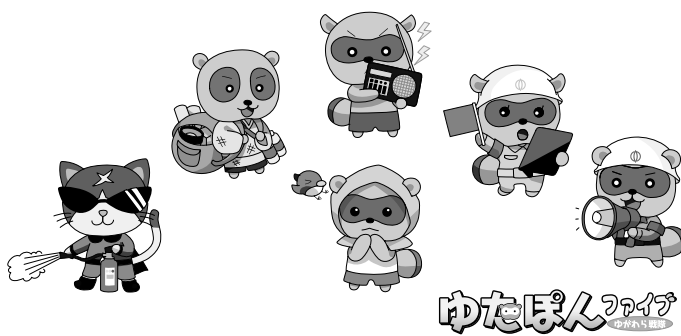
①ハザードマップの役割は、町民の皆様がご自分のお住いの地域などで発生する可能性が高い災害を事前に把握し避難方法などを普段から意識することで減災につなげていくもので、各地区の自主防災組織の協力のもと互いに助け合う共助の一環として避難体制などの確立に活用していただきたいと思います。

Q

②町の備蓄品を食物アレルギー対応のアルファ米にすべてし、また液体ミルクを備蓄品に取り入れることについてのお考えをお聞かせください。

A

②味や価格の問題がありますが、ですので今後検討してまいります。



委員会だより

総務文教・福祉 常任委員会

(8月30日開催)

○主な報告事項

●災害対応について

7月28日(土)の台風12号により被害を受けた町内箇所とその対応について、及び西日本豪雨により甚大な被害を受けた広島県三原市に対する物的支援・人的支援の内容について、報告を受けました。

(9月19日開催)

○主な案件

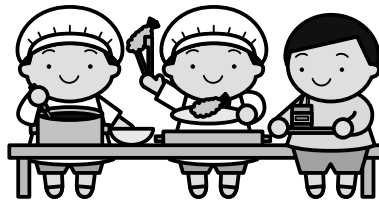
●湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プランの改訂(案)について

住民から寄せられたパブリックコメントの結果と町が4つの基本目標に沿って策定した改訂(案)について説明を受

け、審議しました。

●学校給食費について

前回給食費の引上げを行った平成26年と比べ、食材の高騰や消費税率の引上げ等により1人につき月額400円程度の不足が見込まれるが、子育て支援を充実させる観点から保護者が負担する給食費の引上げは行わないこととしたいという説明を受け、審議しました。



●町民体育館冷房・暖房設備使用料(案)について

町民体育館に設置される冷暖房設備の使用料について、実際の電気料金や近隣市町と同程度の施

設における使用料を参考に、町では使用1時間につき2,000円の使用料として計画していることの説明を受け、審議しました。

○主な報告事項

●「湯河原町いじめ防止基本方針」について

平成26年7月の策定から4年が経過し、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が日々変化していることに伴い、改定されたいじめ防止基本方針について、報告を受けました。

●(仮称)湯河原町自殺対策計画の策定について

自殺対策基本法の改正を受け、市町村においても自殺対策計画を策定することとなったため、平成30年度中に計画策定するべく協議会の設置や今後のスケジュールについて報告を受けました。

環境・観光産業 常任委員会

(9月14日開催)

○案件

●万葉公園・周辺まちづくり事業について

公募設置管理制度(Park-PE)※を活用した万葉公園の整備に向けて、民間事業者からの活用に関する意見・提案を広く募集するため、マーケットサウンディング調査を実施することの説明を受け、審議しました。

※Park-PEとは…飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置又は管理と、その周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備、改修等を一体的に行う者を公募により選定する都市公園における民間資金を活用した新たな整備・管理手法のこと。

●し尿処理について

熱海・湯河原広域行政推進協議会内に設置された、し尿処理専門部会において、これまでに4回

に渡り協議した内容とその結果について説明を受け、審議しました。

○主な報告事項

●台風12号及び13号に係る被害対応について

台風12号及び13号で被害を受けた町道福浦中通り線、福浦漁港、海辺公園、湯河原海水浴場等の被害状況及び対応状況と復旧費用について報告を受けました。

(9月27日開催)

○案件

●し尿等共同処理について

現在協議を進めている、熱海市とのし尿共同処理について、今後見込まれる施設整備に係る費用やランニングコストの額及び現行の足柄上衛生組合での処理委託を継続した場合の経費について説明を受け、審議しました。委員会では熱海市との

共同処理を進めるべきとの意見が出されました。

**広域行政
特別委員会**

(9月14日開催)

熱海市と湯河原町で進んでいる広域行政の事業のうち、し尿処理専門部会でこれまでに協議してきた内容について説明を受け、今後の共同し尿処理について審議しました。

(9月28日開催)

熱海市と湯河原町で進んでいる広域行政の事業について、平成29年度に実施した推進事業の経過と平成30年度の事業計画の説明を受け、審議しました。

**公の施設等整備調査
特別委員会**

(9月27日開催)

平成28年度に策定した湯河原町公共施設等総合管理計画に基づき、2020年度までに役場庁舎・消防施設・学校施設・観光施設・公園施設などの公共建築物について個別施設計画を策定し、施設ごとに建替え・統合・廃止、長寿命化し継続の方向性を検討していくことについて説明を受け、審議しました。

また、前回委員会時に示された各地域会館の移転・建替えや現状維持といった方針に基づき、今後のスケジュールや概算費用が示されました。



補正予算が決まりました

[平成30年9月定例会]

会計名・補正額		概要
一般会計(第2号) (7,778万6,000円の減額)		財政調整基金積立金の減額 後期高齢者医療費の減額 地域福祉会館改修事業費の増額 湯河原町真鶴町衛生組合負担金の減額 町民体育館施設整備事業費の減額 農林水産施設災害復旧事業費の増額 など
国民健康保険事業特別会計(第1号) (2億8,891万5,000円の増額)		運営準備基金積立金の増額 平成29年度国庫支出金の確定に伴う過年度返還金の増額 予備費の減額 など
介護保険事業 特別会計 (第1号)	《保険事業勘定》 (5,515万6,000円の増額)	町村情報システム共同化事業運営費負担金の増額 平成29年度国庫支出金、支払基金交付金、県支出金の確定に伴う過年度返還金の増額 予備費の増額
	《介護サービス事業勘定》 (229万3,000円の増額)	前年度繰越金の増額に伴う予備費の増額
後期高齢者医療特別会計(第1号) (884万8,000円の増額)		町村情報システム共同化事業運営費負担金の増額 前年度繰越金の増額に伴う予備費の増額
温泉事業会計(第1号) (250万円の増額)		修繕料の増額 委託料の増額

一般会計補正予算の主な質疑

- 前年度繰越金 (繰越額が当初予算額に達しなかった理由について)
- 職員健康管理事業 (風疹予防接種の対象者と接種時期について)
- ドライレコーダー設置促進事業 (現在の申請台数について)
- 児童福祉事務経費 (賃金が減額となった理由について)
- (仮称) 多世代交流による若者の人口減少抑制事業 (事業内容について)
- 道路新設改良事業 (工事箇所について)

条例の制定・改正

町HP 電子揭示場



●湯河原町防災コミュニティセンター条例(制定)

平成31年3月に完成予定の防災コミュニティセンターの設置及び会議室等の貸出を規定するため、設置条例を制定しました。

●湯河原町営住宅条例(一部改正)

町営丸山住宅の解体に伴い、当該住宅を用途廃止するため、条例を改正しました。

●湯河原町育英奨学金基金条例及び湯河原町育英奨学金条例(一部改正)

本町教育行政に対する寄附に伴い、湯河原町育英奨学金基金の管理方法の変更及び奨学生を増員し、湯河原町育英奨学金を充実させるため、条例を改正しました。

工事請負契約の締結

●平成30・31年度八雲・まさご保育園統合整備工事

災害から園児等の安全を確保するとともに、少子化により保育施設を合理化するため、八雲・まさご保育園の2園を統合し、新築する整備工事について、平成30・31年度の継続工事として、設計施工一括発注による公募型プロポーザル方式で事業者を選定した結果、大和リース株式会社横浜支店と工事請負契約を締結するものです。(事業費 6億4,800万円)



新園舎建設予定地の若宮公園

動産の取得

●(仮称)防災コミュニティセンター備品の購入

防災コミュニティセンターで使用する会議用机、椅子等の備品について、株式会社文昭堂好文の木から購入することを議決しました。(購入金額 3,433万3,200円)

人事案件

◆湯河原町教育委員会委員の任命について

貴田太史さんの任期が平成30年10月31日で満了となるため、引き続き貴田さんを教育委員会委員

●町民体育館施設整備工事

町民体育館利用者の利便性の向上を図るため、空調設備を設置する施設整備工事について、ケーユー電機株式会社と工事請負契約を締結するものです。(事業費 4,806万円)

に任命することに同意しました。任期は2022年10月31日までです。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

高橋嗣典さんの任期が平成30年12月31日で満了となるため、新たに小澤茂昭さんを人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は2021年12月31日までです。

意見書提出

●平成30年台風12号、13号による災害に関する意見書

本年7月25日に発生した台風12号及び8月3日に発生した台風13号の影響では、国道135号が高波により通行止めとなり、小田原・湯河原間の交通が寸断される事態となりました。

緊急輸送道路である国道135号の代替路線としても期待される広域農

道小田原湯河原線について一層の整備を推進し、早期完成を図ることを強く要望するため、神奈川県知事に意見書を提出しました。



Official document regarding the petition for road improvement, including the title '意見書提出' and the text of the petition.

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

(平成30年9月定例会)

議案番号	議案名	議員名													審議結果	採決日		
		並木 まり子	松井 一寿	石倉 幸久	善本 真人	佐藤 恵	室伏 寿美夫	山本 俊明	村瀬 公大	石井 温	土屋 誠一	室伏 重孝	原田 洋	松野 満				
46	湯河原町防災コミュニティセンター条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
47	学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
48	湯河原町営住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
49	湯河原町育英奨学金基金条例及び湯河原町育英奨学金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
50	平成30年度湯河原町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
51	平成30年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
52	平成30年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
53	平成30年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
54	平成30年度湯河原町温泉事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
55	決算の認定について(平成29年度湯河原町一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
56	決算の認定について(平成29年度湯河原町国民健康保険事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
57	決算の認定について(平成29年度湯河原町介護保険事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
58	決算の認定について(平成29年度湯河原町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
59	利益の処分及び決算の認定について(平成29年度湯河原町水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
60	利益の処分及び決算の認定について(平成29年度湯河原町温泉事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
61	決算の認定について(平成29年度湯河原町下水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	10/2
62	和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
63	工事請負契約の締結について(平成30・31年度八雲・まさご保育園統合整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
64	工事請負契約の締結について(町民体育館施設整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
65	動産の取得について((仮称)防災コミュニティセンター備品の購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9/12
66	湯河原町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	10/2
67	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	10/2
意見書 第1号	平成30年台風12号、13号による災害に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	10/2

総務文教・福祉常任委員会 所管事務調査

日 時…平成30年10月17日(水)～19日(金)
視察先…兵庫県小野市、兵庫県太子町、大阪府池田市
参加者…総務文教・福祉常任委員会委員 6人

目 的…①少子化や人口減少が進むなか、小中一貫教育の先進地を視察する。
②建設から56年を迎えた役場庁舎の建替えに向けて、今後の検討材料とするため。

【小野市】

平成28年4月に制度化された小中一貫校として、市内全校区で小中一貫教育をしており、その効果について調査しました。



【太子町】

新庁舎建設に係る経緯や費用（約41億円）等について調査しました。
旧庁舎では行政手続き以外の来庁者は皆無でしたが、新庁舎になってからは、世代を問わず用事がなくとも役場に来る人が増えたとのことでした。

【池田市】

平成26年度から小中一貫教育を各中学校区で実施しており、その効果について調査しました。小中一貫教育のメリットは、中一ギャップの解消や教員間のより深い情報共有。デメリットは、小学6年生への最高学年としての自覚や成長の促し方の工夫や学校行事における一人ひとりの出番の減少とのことでした。



環境・観光産業常任委員会 所管事務調査

日時：平成30年10月24日(水)～26日(金)
視察先：熊本県南小国町(黒川温泉)、熊本県上天草市、福岡県太宰府市
参加者：環境・観光産業常任委員会委員 7人

目的：①一度は客足が遠のいた温泉地が再び盛況を取り戻した復活劇とは。
②本町ではまだまだ馴染みの浅い「6次産業」とは。
③景観計画策定後に計画の見直しを行うことについて。

【南小国町(黒川温泉)】

黒川温泉で取り組まれている温泉手形の事業内容及びインバウンドに向けた取り組みについて調査しました。

わずか30軒の旅館が「黒川一旅館」として温泉街全体がまるで一つの旅館であるように、地域が一丸となって黒川温泉を守っていました。



【上天草市】

農林水産業者(第1次産業)と製造業(第2次産業)、流通・販売・サービス(第3次産業)が連携して一体的に行う6次産業化の取り組みについて、推進補助金の制度概要と補助実績及び関連する道の駅「さんぱーる」について調査しました。

【太宰府市】

景観まちづくり計画、市民遺産活用推進計画、歴史的風致維持向上計画の策定経緯と特徴について調査しました。

大部分の市域に史跡が点在するため、計画の策定にとっても苦労されていました。



平成30年度町村議会広報研修会

平成30年度町村議会広報研修会に編集委員全員で参加してまいりました。この研修で学んだ「読み手に伝わる文章の書き方」や「見やすい・伝わりやすいデザインレイアウト」を意識しながら、今後もわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。



箱根駅伝予選会で激励

10月13日(土) 東京立川市で行われた「第95回箱根駅伝予選会」にて選手激励のため湯河原町より関東学生陸上競技連盟へ「湯河原みかん」を贈呈しました。



傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。(本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

12月議会日程

11月22日(木) 午前 本会議 (一般質問等)

30日(金) 午前 本会議 (条例・補正予算等)

12月3日(月) 午前 環境・観光産業常任委員会

5日(水) 午前 総務文教・福祉常任委員会

7日(金) 午後 本会議 (委員長報告等)

【午前は10時、午後は3時30分の予定です。】

※傍聴される方は、携帯電話の電源をお切りください。

編集後記

先日、議会だより編集委員会で町村議会広報研修会に参加してまいりました。研修会では、様々な分野の講師による講義を傾聴し、皆様に親しまれる・読みやすい紙面づくりのための工夫を学んできました。

これからも議会の活動内容を市民の皆様にはわかりやすくお届けできるよう努力してまいります。

(並木 まり子 記)

議会だより編集委員会

委員長 佐藤 恵

副委員長 石井 温

委員 並木まり子

室伏寿美夫

松井 一寿
原田 洋